

研修だより

コミュニケーション能力とは

- 広島県立教育センター研究紀要第28号より -

今号では、コミュニケーション能力の具体的な力について、「広島県立教育センター研究紀要第28号」にまとめられたものを紹介します。(ヨーロッパの定義、中高生向け)

言葉を適切に組み合わせて使う力
 会話全体から相手の話の内容や意図を把握して、話し合う力。
 相手や周りの状況に応じて、適切に表現する力。
 言い換えたり、確認したり、身振りを入れたりするなど、別の表現を取り入れて、相手に理解させる力。

さらに、全国の小学校の実践をまとめた、コミュニケーション能力育成のための基礎的能力として、以下を挙げています。

話す	聞く
<ul style="list-style-type: none"> ・自分なりの考えを、相手に応じて分かりやすく正確に話す。 ・適切な音量、速度、間合い等を考えて話す。 ・聞き手を意識した話し方をする。 ・顔の表情やジェスチャーを交え、自分の思いを相手に分かってもらえるようにする。 ・自分の考えを資料を提示しながら話す。 ・根拠を持って主張する。 ・進んで自分の思いや考えを話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・うなずきながら聞く。 ・相手の目を見て聞く。 ・自分の考えと比べながら正確に聞き取る。 ・相手の言葉が理解できないとき、説明を求めたり質問したりする。 ・相手の意見を尊重し、異なる意見を大切にする。 ・相手の話の根拠や主張を聞き分ける。
読む	書く
<ul style="list-style-type: none"> ・書かれていることの中から、自分に必要な情報を読み取る。 ・分からない言葉などがあれば、辞書を活用する。 ・適切な音量で読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の感じたことや思いを文章で表現できる。 ・自分の言いたいことがよく伝わるよう、分かりやすい表現で書く。 ・Eメールを使うなど多様な情報手段を活用する。 ・絵や写真、音楽など非言語表現を使って伝える。

自分の学年の子供達につけるべき能力とは、どんな力なのか、これらを通して具体的なイメージを持っていただけたらと思います。